

おさんぽマップ

園内にはドングリがなるシラカシやコナラもあるので、
 ぜひ探してみてください。



秋は、実り・紅葉の時期。

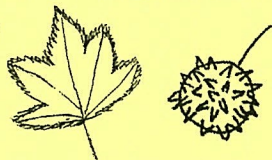
そして、過ごしやすい時期でもあります。

いろいろな形の実を探しにおさんぽに出かけてみましょう！！

きっと面白い発見がありますよ～♪

①モミジバフウ (フウ科)

葉はモミジに似ていて、緑色からオレンジ色に変わる紅葉もきれいです。トゲトゲした実がぶら下がり、実の中には小さな種がたくさん入っています。



②ニシキギ (ニシキギ科)

紅葉した美しい姿を「錦」に例えて「錦木 (ニシキギ)」の名前がつけました。真っ赤に色づき、ひときわ目をひきます。カエデ、スズランノキと並んで、『世界三大紅葉樹』のひとつです。



※園内の植物を折ったり、持ち帰ったりしないでください。

③コノテガシワ (ヒノキ科)

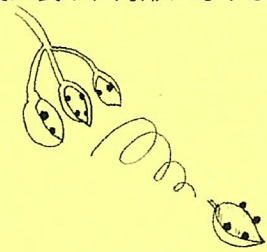


枝が直立して平面状に広がり、子供が手を広げているように見えることから「児の手柏」の名前がつけました。コンペイトウのような緑色の実がついて可愛らしく見えます。

コノテガシワ

④アオギリ (アオイ科)

幹が緑色で、葉はキリの葉に似ています。果実は未熟なうちに5つに分かれ、はじめはマメのサヤのような形です。それぞれが徐々に膨らみ、果皮は縦に裂け、舟形になります。



種はひらいた果皮の縁に4つつき、まるで船やボートに乗っているように見えます。



⑤フジ (マメ科)

春の紫色の見事な花が終わると少し寂しそうですが、よく見ると葉の間から緑色のマメのサヤがぶら下がっています。おしとやかな花とは対照的に、秋にはサヤが緑色から茶色に変わり、乾いてくるとよじらせてバネ仕掛けで元気いっぱい種を弾き飛ばします。

● ←黒くてうすい丸い種です

